

公表

児童発達支援における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハート飯塚		
○保護者評価実施期間	2024年1月1日		～ 2024年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 0名
○従業者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2015年2月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の年齢の幅が広く、沢山の経験から情報交換ができ、活かすことができる。	定期的に、職員会議を行い、課題や問題に取り組み改善に努めています。	お子様に、安全安心に過ごしてもらえるように、より良い環境を整える工夫を常日行っております。
2	フランチャイズでもあり、皆さんとの情報交換ができ、療育が高める事ができる。また、本部での研修も充実しており、質の向上が図れる事ができる。	定期的に研修に、積極的に参加し向上心をもち知識を高め、スキルアップに努めています。	積極的に、声を掛け合い「笑顔」「共感」「傾聴」を心掛けております
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様への周知の仕方	保護者様全員への共通の認識	保護者様に分かりやすいように周知の仕方を考慮していきます
2			
3			

公表 放課後等デイサービスにおける自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハート飯塚		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 1日		～ 令和6年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	令和6年 1月 1日		～ 令和6年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の年齢の幅が広く、沢山の経験から情報交換ができ、活かすことができる。	定期的に、職員会議を行い、課題や問題に取り組み改善に努めています。	お子様に、安全安心に過ごしてもらえるように、より良い環境を整える工夫を常日行っております。
2	フランチャイズでもあり、皆さんとの情報交換ができ、療育が高める事ができる。また、本部での研修も充実しており、質の向上が図れる事ができる。	定期的に研修に、積極的に参加し向上心をもち知識を高め、スキルアップに努めています。	積極的に、声を掛け合い「笑顔」「共感」「傾聴」を心掛けております
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様への周知の仕方	保護者様全員への共通の認識	保護者様に分かりやすいように周知の仕方を考慮していきます
2			
3			

公表

保育所等訪問における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハート飯塚		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 1日		～ 令和6年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 0名
○従業者評価実施期間	令和6年 1月 1日		～ 令和6年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6名
○訪問先施設評価実施期間	令和6年 3月 1日		～ 令和6年 12月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 0名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の年齢の幅が広く、沢山の経験から情報交換ができ、活かすことができる。	定期的に、職員会議を行い、課題や問題に取り組み改善に努めていきます。	お子様に、安全安心に過ごしてもらえるように、より良い環境を整える工夫を常日頃行っております。
2	フランチャイズでもあり、皆さんとの情報交換ができ、療育が高める事ができる。また、本部での研修も充実しており、質の向上が図れる事ができる。	定期的に研修に、積極的に参加し向上心をもち知識を高め、スキルアップに努めていきます。	積極的に、声を掛け合い「笑顔」「共感」「傾聴」を心掛けております

3			
---	--	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様への周知の仕方	保護者様全員への共通の認識	保護者様に分かりやすいように周知の仕方を考慮していきます
2			
3			

公表 児童発達支援における自己評価結果

事業所名		チャイルドハート飯塚				公表日	2025年2月15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	活動に応じて、必要なスペースの確保を工夫して行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	適切な基準の人員配置で支援させて頂いております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	お子様に分かりやすい導線なども考慮した環境になっております。お子様の特性に合わせた環境設備に整え、情報伝達なども展示しております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	お子様達が、安心して安全に心地よく過ごせるように、衛生面にも力を入れております。お子様の活動に合わせた過ごしやすい空間となっております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	お子様の状況に応じた対応を行っております		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	目標を設定し、定期的に見直し必要な場合は改善を行っていきます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者様や利用者様の声に耳を傾け必要な支援や療育を取り入れて行っております。また、アンケート調査を実施し、ニーズに合った支援が出来るように工夫しております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	日々の情報や課題が共有出来るように会議や朝礼等で報告と確認を行い、職員で共有しながら適切に支援が出来るように行っております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	チャイルドハートFC本部での毎年評価をして頂き、問題点に関しては改善しております。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	チャイルドハートFC本部での年間研修や地域や県の研修にも積極的に参加し、職員間で共有しながらスキルアップに心掛けております。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	5領域に特化した、支援プログラムを作成し、保護者様や職員に周知しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	定期的に保護者様や利用者様の言葉を聞きながらニーズや課題の分析を行い個別支援計画書等に反映し適切な支援が行えるように職員間で共有しております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	毎月の児発管が作成した個別計画案についてカンファレンスを行い個別計画書について確認を行い共通理解し利用者様にとっての最善の利益を考慮し検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	利用者様の個別計画書に沿った療育を行えるように専門支援員を含め1日のイベント計画を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	少なくとも6ヶ月に1回は担当機関または保護者様と担当者会議等を行いアセスメントの見直しを行っている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	個別支援計画書にはガイドライン等の支援内容も踏まえながらお子様の困り感を適切に療育出来るよう支援を設定しながら行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	毎日のイベントや療育の内容を児発管と共に話し合いながらチームで行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	固定しないようにイベント表を作成し利用者にもっとも必要な運動や療育を行っている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	利用者様に応じて個別活動と集団活動が出来るようにスケジュールを組み毎日行っている。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎日朝礼でスケジュールや利用者様の支援を確認し職員で連携が取れるように行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	終礼時にヒヤリハットなど利用者様の様子などを振り返り次の支援に繋げられるように行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	毎日の支援を個別支援計画書に添って行い、その支援内容を記録し、問題がある場合は検証・改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的にモニタリングを行い個別支援計画書の見直しを行っている。また、職員間でも話し合い、モニタリングの作成に繋げている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	関係機関との担当者会議等を行い、利用者様の状況などの情報交換を行いより良い療育に努めています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	協力機関の病院に怪我をした場合など連絡し対応をして頂いている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	職員に応じたインクルージョン推進を行い個性を大切にしながら多様な考えや価値観を生かせるよう支援に関わり工夫を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	就学時の移行については学校担任や関係機関と状況を共有しながら相互理解を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0	子育て会議等の案内をして頂き参加している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	保育所訪問・訪問支援などを願っている。今後交流も検討してまいります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時に本日のお子様の様子をお話させて頂いております。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	毎月のお便りや本部発行のニュースレターなどで情報誌をお渡ししながら子育ての悩みや手助けが出来るように行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時や見学時に運営規程等の話しを行なっている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	個別支援計画書については利用者様や保護者様のニーズを聞き整理したうえで利用者様の最善の利益を考慮し制作している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	個別支援計画書については、モニタリングやカンファレンスを行った上で作成し、本案を保護者様に説明し同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	保護者様のお困り事等をご相談して頂き、面談や助言を行い、お子様の支援に繋げております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	定期的に、保護者会を実施し保護者様同士の交流が出来るように今後も検討してまいります	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	何かございましたらお気軽にご連絡ください。迅速にご対応させていただきます。	

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月、おたよりと本部発行情報誌を保護者様にお渡し、ブログやインスタに活動内容載せている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報については厳重に保管している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	視覚でも分かるようにパネル等やタイマーなどを取り入れ支援を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	地域に役立つようにボランティア活動などを取り入れている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各マニュアルに基づき職員でシミュレーションを行いながら利用者様と訓練を行い、職員や家族等に周知している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPの計画に基づき、非常災害に備え、避難訓練等を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	利用者様の状況を把握し、職員に周知しそれぞれのお子様に合わせて配慮を行っています	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	食物アレルギーのある利用者様については、医師の結果表等を基に周知し対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成し定期的に研修や訓練を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	保護者会で安全対策について周知を行い安全計画について理解し連携して頂けるよう行っております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットの事例の共有と対策を話し合い未然に防げるようにしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止の為虐待研修や身体拘束研修など受けなが適切な対応が出来るように行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	身体拘束を行わなければならない利用者様はいませんが、やむを得ない場合については相談員様や利用者様と保護者様に説明し了承した上で記載を考えております。	

公表

放課後等デイサービスにおける自己評価結果

事業所名		チャイルドハート飯塚				公表日	2025年2月15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	活動に応じて、必要なスペースの確保を工夫して行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	適切な基準の人員配置で支援させて頂いております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	お子様に分かりやすい導線なども考慮した環境になっております。お子様の特性に合わせた環境設備に整え、情報伝達なども展示しております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	お子様達が、安心して安全に心地よく過ごせるように、衛生面にも力を入れております。お子様の活動に合わせた過ごしやすい空間となっております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	お子様の状況に応じた対応を行っております		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	目標を設定し、定期的に見直し必要な場合は改善し、職員間でも情報共有を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者様や利用者様の声に耳を傾け必要な支援や療育を取り入れて行っております。また、アンケート調査を実施し、ニーズに合った支援が出来るように工夫しております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	日々の情報や課題が共有出来るように会議や朝礼等で報告と確認を行い、職員で共有しながら適切に支援が出来るように行っております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	チャイルドハートFC本部での毎年評価をして頂き、問題点に関しては改善していくように行っております。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	チャイルドハートFC本部での年間研修を受けたり、地域や県の研修を積極的に参加し、職員間で共有しながらスキルアップに心掛けております。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	5領域に特化した、支援プログラムを作成し、保護者様や職員に周知しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	計画時には、保護者様や相談支援員の方などの聞き取りを行い、計画書に反映している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	毎月の児発管が作成した個別計画案についてカンファレンスを行い個別計画書を作成し、共通理解を行い利用者様にとっての最善の利益を考慮して検討に繋げております。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	利用者様の個別計画書に沿った療育を行えるように専門支援員を含め1日のイベント計画を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	6ヶ月に1回は各関係者または保護者様と担当者会議等を行いアセスメントの見直しを行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	個別支援計画書には、ガイドライン等の支援内容を踏まえながらお子様の困り感に適切な療育出来るように支援を設定しながら行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	毎日のイベントや療育の内容を児発管と共に話し合いながらチームで行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	固定化しないようにその日のご利用の方に合わせたイベント表を作成し、お子様に適した活動プログラムとなっております。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	利用者様に応じて個別活動と集団活動が出来るようにスケジュールを組み合わせしております。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎日朝礼でスケジュールや利用者様の支援を確認し職員で連携が取れるように行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	終礼時にヒヤリハットなどや利用者様の様子などを振り返り次の支援に繋げられるように行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	毎日の支援を個別支援計画書に添って行い、その支援内容を記録し、問題がある場合は検証・改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にモニタリングを行い個別支援計画書の見直しを行っている。また、職員間でも話し合い、モニタリングの作成に繋げている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	0	関係機関との担当者会議等を行い、利用者様の状況などの情報交換を行いより良い療育に努めています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	協力機関の病院に怪我をした場合など連絡し対応をして頂いている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	職員に応じたインクルージョン推進を行い個性を大切にしながら多種多様な考えや価値観を生かせるよう支援に関わり工夫を行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	就学時の移行については学校担任や関係機関と状況を共有しながら相互理解を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	子育て会議等の案内をして頂き参加している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	保育所訪問・訪問支援などをお願いしている。今後交流も検討してまいります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時に本日のお子様の様子をお話させて頂いております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	毎月のお便りや本部発行のニュースレターなどで情報誌をお渡ししながら子育ての悩みや手助けが出来るように行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時や見学時に運営規程等の話しを行なっている。	
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	個別支援計画書については利用者様や保護者様のニーズを聞き整理したうえで利用者様の最善の利益を考慮し制作している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	個別支援計画書については、モニタリングやカンファレンスを行った上で作成し、本案を保護者様に説明し同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	保護者様のお困り事等をご相談して頂き、面談や助言を行い、お子様の支援に繋げております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	定期的に、保護者会を実施し保護者様同士の交流が出来るように今後も検討してまいります	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	何かございましたらお気軽にご連絡ください。迅速にご対応させていただきます。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月、おたよりと本部発行情報誌を保護者様にお渡し、ブログやインスタに活動内容を載せている。	

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報については厳重に保管している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	視覚でも分かるようにパネル等やタイマーなどを取り入れ支援を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	地域に役立つようにボランティア活動などを取り入れている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各マニュアルに基づき職員でシュミレーションを行いながら利用者様と訓練を行い、職員や家族等に周知している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPの計画に基づき、非常災害に備え、避難訓練等を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	利用者様の状況を把握し、職員に周知しそれぞれのお子様に合わせて配慮を行っています	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	食物アレルギーのある利用者様については、医師の結果表等を基に周知し対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成し定期的に研修や訓練を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	保護者会で安全対策について周知を行い安全計画について理解し連携して頂けるよう行っております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットの事例の共有と対策を話し合い未然に防げるようにしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止の為虐待研修や身体拘束研修など受けなが適切な対応が出来るように行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	身体拘束を行わなければならない利用者様はいませんが、やむを得ない場合については相談員様や利用者様と保護者様に説明し了承した上で記載を考えております。	

公表

保育所等訪問における自己評価結果

事業所名		チャイルドハート飯塚					公表日 令和7年2月15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 運営・ 整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	<input type="radio"/>		学校の行事等で公共施設や戸外活動へ行く時には、必要となる物を準備した。また、戸外活動の場合は長い距離を歩けるように「がんばるシール」等を準備し声掛けを行った。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		訪問支援利用者様の状態を把握し1対1の支援を行っている。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		訪問支援の行事やイベントの内容を職員で会議等で把握し利用者様の状態等話し合い訪問支援後は、利用者様の様子を報告、連絡し次の目標を定めている。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		学校での利用者様や保護者様の困り感を把握できるように送迎時や電話連絡を取りながら訪問支援の改善や工夫を行っている。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		会議や終礼、朝礼時に振り返りや利用者様の業務改善に繋げられる用に行っている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		始まったばかりの保育所等訪問支援であるので、第三者による評価は今のところありませんが、今後はチャイルドFC本部による評価を受け業務改善に努める。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		定期的な本部研修や地域、県の行なう研修を受講したり、専門支援部会のお話を開催し、支援に繋げられるように行っている。		
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントを行ない利用者様や保護者様のニーズを受け支援に繋げ、保育所訪問等の訪問支援計画に取り入れて行っている。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		PDCAサイクルを行ない、利用者様の日頃の様子や課題を職員同士で話し合い、共通理解のをし次の保育所等訪問支援に繋げられるように行っている。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	<input type="radio"/>		学校での利用者様が学校で何に不安や困り感があるのかを担当の先生方や校長先生と話しを行ない支援を行う。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者との個別計画書に基づき保育所等訪問支援の利用者様や保護者様、学校とのアセスメントにもとに個別計画書を作成し、個別計画書に沿って工夫しながら支援する。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		利用者様の学校生活での不安を少しでも軽減し、何か必要なのか関係機関や学校側と連携を取りながら確認を行う。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		保育所等訪問支援ガイドラインを踏まえながら利用者様のニーズに合わせて支援内容を行えるようにしている。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画に沿った支援を行い、公共施設や戸外活動の支援にも、職員間で共有しながらより良い支援に繋げていきます。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		どのような場面の保育所等訪問支援になるのかを、事前に打ち合わせを行い職員間でも情報共有を行っています。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		支援後は、利用者様の学校での様子やどのような事に困り感があり、学校での行動でのチャイルドとは違う様子などは振り返りながら報告を行い共有している。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		訪問先の指導方法を尊重しながら利用者様に必要な補助支援や声掛けを行っている。		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	<input type="radio"/>		支援の記録を行いどのような事が今後の支援に必要なのかを振り返りながら、次の支援に繋げられるように行っている。		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		利用時の評価や6ヶ月1回のモニタリングなど実施し、保育所訪問支援計画の見直しを行っている。			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		利用者様の関係機関との担当者会議を行い、個人計画書に取り入れ利用者様が生活しやすい環境作りや支援を行う。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		利用者様の取り巻く関係機関と体制を整えられるように働きかけ信頼関係が得られるように今後も心掛けていきます。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		保護者様に確認、承諾を行った上で学校との情報を共有し保護者様と学校との橋渡しを行いながら体制を整えて行っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	<input type="radio"/>		地域の研修や本部研修を受け専門職員等の助言を受けながら、今、必要な研修に参加させて頂いております。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		開催されている時は、参加させて頂きたいと考えております。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		送迎時や電話連絡等で家庭の様子を聞きながら課題について、保護者様と共通理解を深めさせて頂いております。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		事業所の利用者様の他児との様子をブログやお手紙等で見える化している。また、ペアレントトレーニングは、今後も検討していきます。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		契約の際には、保護者様の様子を観察し合わせながら丁寧な説明をさせて頂いております。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	<input type="radio"/>		学校長や担任の先生を含め、保育所等訪問支援のあり方など利用者に必要な支援のあり方などを理解して頂けるように説明をさせて頂いております。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		利用者様の最善の利益の優先を考慮し、ニーズを踏まえながら行えるようにモニタリングの上、個別計画書を作成している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		保育所訪問支援計画の説明を行い、同意を得て署名をして頂いております。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		保護者様が、相談しやすい環境やコミュニケーションを行い、不安感やお困り感が軽減出来るように事業所に持ち帰り職員で話し合い助言を伝える。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		保護者会を開催し保護者様同士の交流を行っております。今後も、検討していきます。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		利用者様や保護者様の不安感やお困り感に対する相談には誠意を持って受け止め職員での話し合いや専門職員での助言を適切に伝えられるように行っております。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		ブログやインスタなどで日頃の活動を紹介しどのような支援かお知らせを致します。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		個人情報の守秘義務を徹底し、鍵付きの棚での保管を行っています。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		利用者様や保護者様にわかりやすく伝達する為に視覚で知らせたりしながら支援を行っている。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	<input type="radio"/>		学校側のどこに利用者様のお困り感があるのかを聞きながら必要な助言や支援を行っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	<input type="radio"/>		定期的に学校長や担任先生との話し合いを行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	<input type="radio"/>		保育所等訪問支援の実施後、利用者様の様子などやお困り感の改善について話し合いを行います。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		個人情報については、保護者様に了承を得ながら十分に留意している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	<input type="radio"/>		始まったばかりではあるので、学校とのコミュニケーションを取りながら気づきを報告し工夫や助言が出来るように行っている。	

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	災害についての避難訓練や感染症対策などシミュレーションや研修を実施し、また、保護者様にも、連絡帳やSNSなどで周知を行っております。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修を行っている。また、保護者会でも周知を行う。研修や訓練などと職員間で振り返りを行い改善を行う。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	終礼時や朝礼での振り返りを含め、報告しヒヤリハット事例の場合は記録に残し対策を行っていけるようにしている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	地域の研修や本部研修を受け、虐待や身体拘束について知ること、日頃の支援に虐待がなかったかなど、虐待委員会を開催し話し合いを行っている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	身体拘束が必要な利用者様は現在いませんがやむを得ず身体拘束を行う場合は1人で判断せずに上司や職員にも報告し、計画書に記載させていただきます。	